

# 報告 7 併置校

はじめに

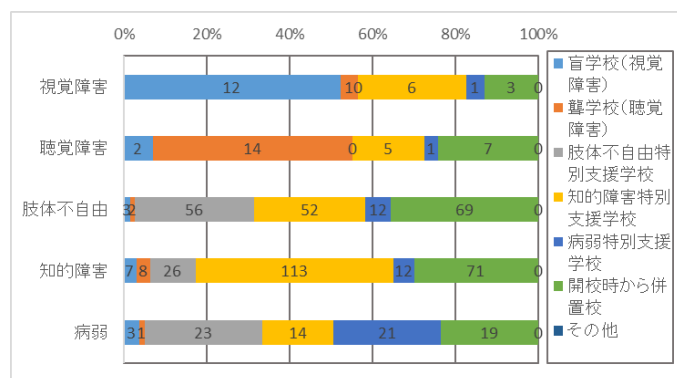
【110】 単独障害種別時の障害種別について、お答えください。《 単一選択 》

	盲学校(視覚障害)	聾学校(聴覚障害)	肢体不自由特別支援学校	知的障害特別支援学校	病弱特別支援学校	開校時から併置校	その他
合計	19	14	64	115	23	78	0
%	(6.1)	(4.5)	(20.4)	(36.7)	(7.3)	(24.9)	(0)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	12	1	0	6	1	3	0
%	(52.2)	(4.3)	(0)	(26.1)	(4.3)	(13)	(0)
聴覚障害	2	14	0	5	1	7	0
%	(6.9)	(48.3)	(0)	(17.2)	(3.4)	(24.1)	(0)
肢体不自由	3	2	56	52	12	69	0
%	(1.5)	(1)	(28.9)	(26.8)	(6.2)	(35.6)	(0)
知的障害	7	8	26	113	12	71	0
%	(3)	(3.4)	(11)	(47.7)	(5.1)	(30)	(0)
病弱	3	1	23	14	21	19	0
%	(3.7)	(1.2)	(28.4)	(17.3)	(25.9)	(23.5)	(0)
合計	27	26	105	190	47	169	0
%	(4.8)	(4.6)	(18.6)	(33.7)	(8.3)	(30.0)	(0.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



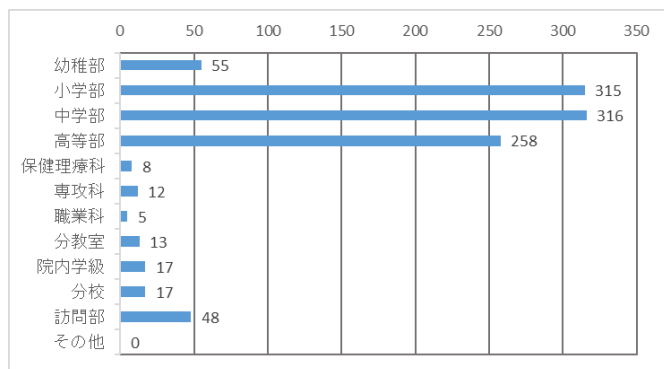
【111】併置になる前に設置されていた学部・学科等について、お答えください。《複数選択可》

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	保健医療科	専攻科	職業科	分教室	院内学級	分校	訪問部	その他
合計	25	159	159	130	4	6	4	9	9	8	27	0
%	(14.4)	(91.4)	(91.4)	(74.7)	(2.3)	(3.4)	(2.3)	(5.2)	(5.2)	(4.6)	(15.5)	(0)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	6	13	13	9	4	4	0	0	0	1	0	0
%	(46.2)	(100)	(100)	(69.2)	(30.8)	(30.8)	(0)	(0)	(0)	(7.7)	(0)	(0)
聴覚障害	12	17	17	13	1	3	1	0	0	1	0	0
%	(70.6)	(100)	(100)	(76.5)	(5.9)	(17.6)	(5.9)	(0)	(0)	(5.9)	(0)	(0)
肢体不自由	12	111	111	93	1	1	1	3	6	7	21	0
%	(10.3)	(94.9)	(94.9)	(79.5)	(0.9)	(0.9)	(0.9)	(2.6)	(5.1)	(6)	(17.9)	(0)
知的障害	16	121	121	101	1	3	3	5	4	5	17	0
%	(11.9)	(90.3)	(90.3)	(75.4)	(0.7)	(2.2)	(2.2)	(3.7)	(3)	(3.7)	(12.7)	(0)
病弱	9	53	54	42	1	1	0	5	7	3	10	0
%	(16.1)	(94.6)	(96.4)	(75)	(1.8)	(1.8)	(0)	(8.9)	(12.5)	(5.4)	(17.9)	(0)
合計	55	315	316	258	8	12	5	13	17	17	48	0
%	(5.2)	(29.6)	(29.7)	(24.2)	(0.8)	(1.1)	(0.5)	(1.2)	(1.6)	(1.6)	(4.5)	(0.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



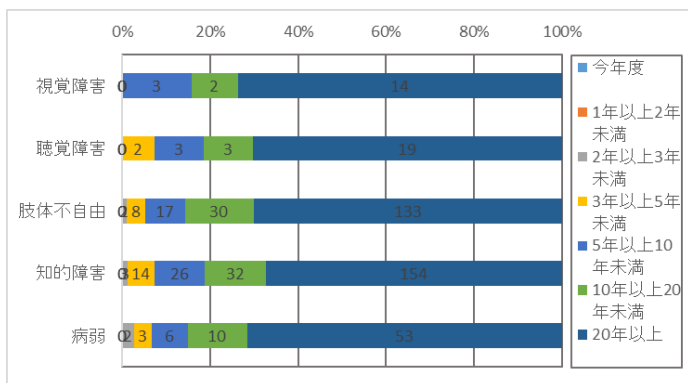
【112】開校年月日をお答えください。

	今年度	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
合計	0	0	5	15	29	36	204
%	(0)	(0)	(1.7)	(5.2)	(10)	(12.5)	(70.6)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	0	0	0	0	3	2	14
%	(0)	(0)	(0)	(0)	(15.8)	(10.5)	(73.7)
聴覚障害	0	0	0	2	3	3	19
%	(0)	(0)	(0)	(7.4)	(11.1)	(11.1)	(70.4)
肢体不自由	0	0	2	8	17	30	133
%	(0)	(0)	(1.1)	(4.2)	(8.9)	(15.8)	(70)
知的障害	0	0	3	14	26	32	154
%	(0)	(0)	(1.3)	(6.1)	(11.4)	(14)	(67.2)
病弱	0	0	2	3	6	10	53
%	(0)	(0)	(2.7)	(4.1)	(8.1)	(13.5)	(71.6)
合計	0	0	7	27	55	77	373
%	(0.0)	(0.0)	(1.3)	(5.0)	(10.2)	(14.3)	(69.2)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



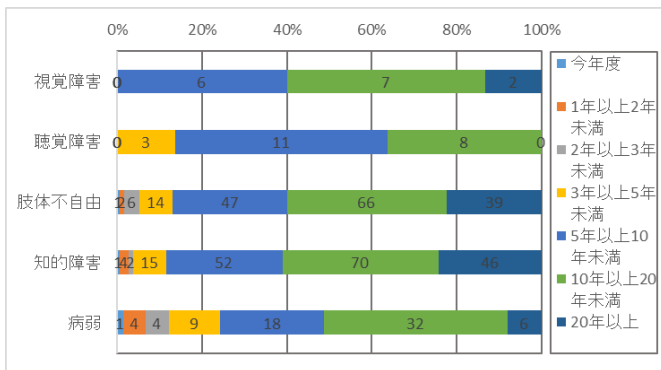
【113】併置となった年月日をお答えください。

	今年度	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
合計	2	5	7	22	64	80	55
%	(0.9)	(2.1)	(3)	(9.4)	(27.2)	(34)	(23.4)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	0	0	0	0	6	7	2
%	(0)	(0)	(0)	(0)	(40)	(46.7)	(13.3)
聴覚障害	0	0	0	3	11	8	0
%	(0)	(0)	(0)	(13.6)	(50)	(36.4)	(0)
肢体不自由	1	2	6	14	47	66	39
%	(0.6)	(1.1)	(3.4)	(8)	(26.9)	(37.7)	(22.3)
知的障害	1	4	2	15	52	70	46
%	(0.5)	(2.1)	(1.1)	(7.9)	(27.4)	(36.8)	(24.2)
病弱	1	4	4	9	18	32	6
%	(1.4)	(5.4)	(5.4)	(12.2)	(24.3)	(43.2)	(8.1)
合計	3	10	12	41	134	183	93
%	(0.6)	(2.1)	(2.5)	(8.6)	(28.2)	(38.4)	(19.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



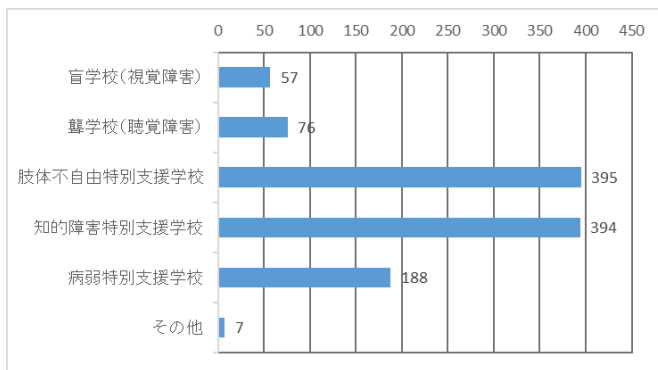
【114】併置後の障害種別について、お答えください。《複数選択可》

	盲学校(視覚障害)	聾学校(聴覚障害)	肢体不自由特別支援学校	知的障害特別支援学校	病弱特別支援学校	その他
合計	16	23	179	187	74	4
%	(6.6)	(9.5)	(74.3)	(77.6)	(30.7)	(1.7)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	15	9	11	13	10	0
%	(93.8)	(56.3)	(68.8)	(81.3)	(62.5)	(0)
聴覚障害	9	21	14	23	10	0
%	(39.1)	(91.3)	(60.9)	(100)	(43.5)	(0)
肢体不自由	11	14	169	139	55	3
%	(6)	(7.7)	(92.9)	(76.4)	(30.2)	(1.6)
知的障害	12	22	146	179	42	3
%	(6.2)	(11.3)	(75.3)	(92.3)	(21.6)	(1.5)
病弱	10	10	55	40	71	1
%	(13.2)	(13.2)	(72.4)	(52.6)	(93.4)	(1.3)
合計	57	76	395	394	188	7
%	(5.1)	(6.8)	(35.4)	(35.3)	(16.8)	(0.6)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



## ■その他内容

病弱の分教室／肢体：小学部分教室 病弱：病院内に／分教室／知的障がいのある肢体不自由

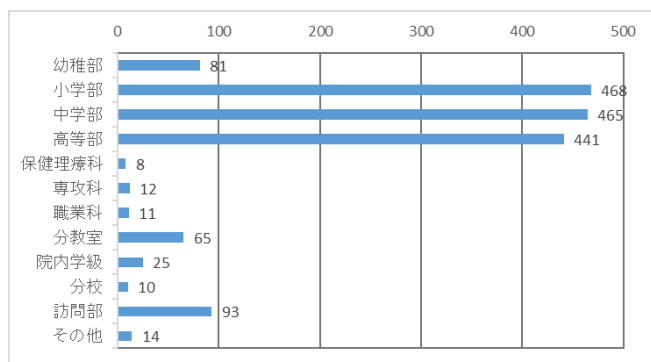
【115】併置後の学部・学科等について、お答えください。《複数選択可》

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	保健医療科	専攻科	職業科	分教室	院内学級	分校	訪問部	その他
合計	33	227	226	215	4	6	8	35	12	7	47	8
%	(13.5)	(93)	(92.6)	(88.1)	(1.6)	(2.5)	(3.3)	(14.3)	(4.9)	(2.9)	(19.3)	(3.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	10	16	16	14	4	4	0	2	0	0	2	0
%	(62.5)	(100)	(100)	(87.5)	(25)	(25)	(0)	(12.5)	(0)	(0)	(12.5)	(0)
聴覚障害	16	21	21	22	1	3	2	2	0	0	2	0
%	(69.6)	(91.3)	(91.3)	(95.7)	(4.3)	(13)	(8.7)	(8.7)	(0)	(0)	(8.7)	(0)
肢体不自由	19	177	176	165	1	1	2	22	9	3	41	3
%	(10.4)	(97.3)	(96.7)	(90.7)	(0.5)	(0.5)	(1.1)	(12.1)	(4.9)	(1.6)	(22.5)	(1.6)
知的障害	24	180	179	176	1	3	5	26	5	7	29	8
%	(12.2)	(91.4)	(90.9)	(89.3)	(0.5)	(1.5)	(2.5)	(13.2)	(2.5)	(3.6)	(14.7)	(4.1)
病弱	12	74	73	64	1	1	2	13	11	0	19	3
%	(15.8)	(97.4)	(96.1)	(84.2)	(1.3)	(1.3)	(2.6)	(17.1)	(14.5)	(0)	(25)	(3.9)
合計	81	468	465	441	8	12	11	65	25	10	93	14
%	(4.8)	(27.6)	(27.5)	(26.0)	(0.5)	(0.7)	(0.6)	(3.8)	(1.5)	(0.6)	(5.5)	(0.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

【聴覚障害】

高等部のみ知的部門を併置した

【肢体不自由】

寄宿舎／訪問部は小中学部／校舎／高等部専門学科（軽度知的障がい対象）

【知的障害】

寄宿舎／産業技術科／病弱は、分教室（小中）、院内（小中）のみ／訪問部は小中学部／高等部のみ知的部門を併置した／院内学級（心療科）／校舎／高等部普通科職業コース／知的は小、中、高 病弱は小、中のみ／高等部専門学科（軽度知的障がい対象）

【病弱】

病弱は、分教室（小中）、院内（小中）のみ／訪問部は小中学部／院内学級（心療科）／知的は小、中、高 病弱は小、中のみ

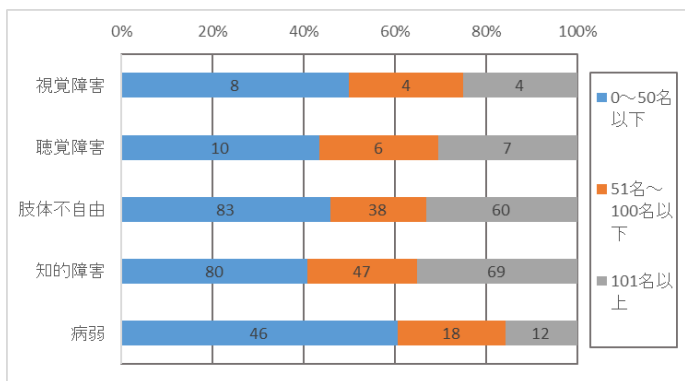
【116】併置後、児童・生徒数の増加数について、お答えください。《単一選択》

	0～50名以下	51名～100名以下	101名以上
合計	116	54	73
%	(47.7)	(22.2)	(30)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	8	4	4
%	(50)	(25)	(25)
聴覚障害	10	6	7
%	(43.5)	(26.1)	(30.4)
肢体不自由	83	38	60
%	(45.9)	(21)	(33.1)
知的障害	80	47	69
%	(40.8)	(24)	(35.2)
病弱	46	18	12
%	(60.5)	(23.7)	(15.8)
合計	227	113	152
%	(46.1)	(23.0)	(30.9)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



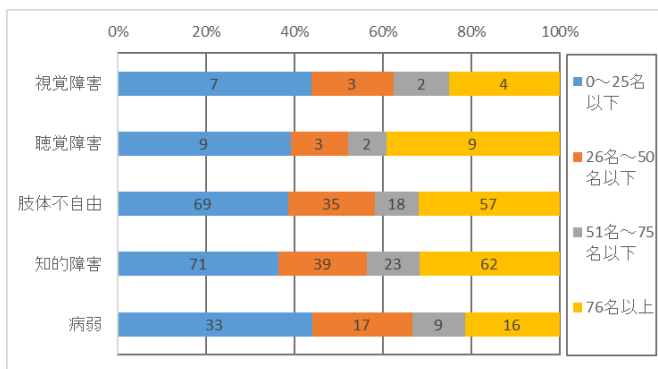
【117】併置後、教職員数の増加数について、お答えください。《単一選択》

	0～25名以下	26名～50名以下	51名～75名以下	76名以上
合計	96	48	28	69
%	(39.8)	(19.9)	(11.6)	(28.6)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	7	3	2	4
%	(43.8)	(18.8)	(12.5)	(25)
聴覚障害	9	3	2	9
%	(39.1)	(13)	(8.7)	(39.1)
肢体不自由	69	35	18	57
%	(38.5)	(19.6)	(10.1)	(31.8)
知的障害	71	39	23	62
%	(36.4)	(20)	(11.8)	(31.8)
病弱	33	17	9	16
%	(44)	(22.7)	(12)	(21.3)
合計	189	97	54	148
%	(38.7)	(19.9)	(11.1)	(30.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。





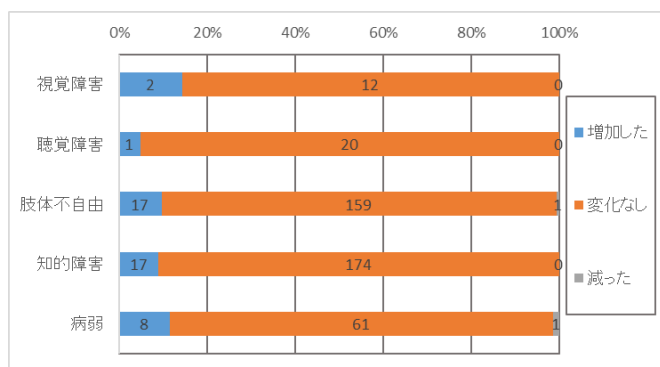
【118】敷地面積の増加の有無について、お答えください。《単一選択》

	増加した	変化なし	減った
合計	23	212	1
%	(9.7)	(89.8)	(0.4)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	2	12	0
%	(14.3)	(85.7)	(0)
聴覚障害	1	20	0
%	(4.8)	(95.2)	(0)
肢体不自由	17	159	1
%	(9.6)	(89.8)	(0.6)
知的障害	17	174	0
%	(8.9)	(91.1)	(0)
病弱	8	61	1
%	(11.4)	(87.1)	(1.4)
合計	45	426	2
%	(9.5)	(90.1)	(0.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



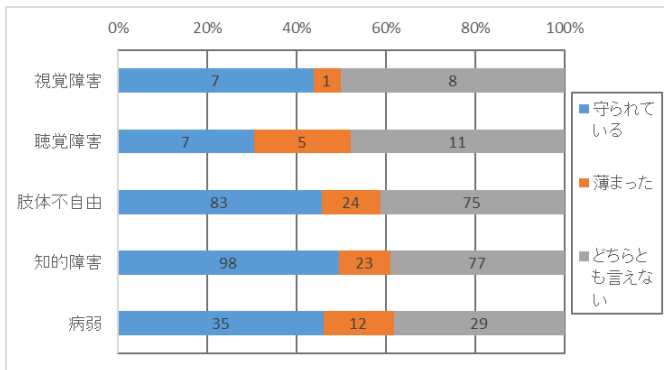
【119】併置後の障害種別の専門性の維持について、お答えください。《単一選択》

	守られている	薄まった	どちらとも言えない
合計	126	31	88
%	(51.4)	(12.7)	(35.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	7	1	8
%	(43.8)	(6.3)	(50)
聴覚障害	7	5	11
%	(30.4)	(21.7)	(47.8)
肢体不自由	83	24	75
%	(45.6)	(13.2)	(41.2)
知的障害	98	23	77
%	(49.5)	(11.6)	(38.9)
病弱	35	12	29
%	(46.1)	(15.8)	(38.2)
合計	230	65	200
%	(46.5)	(13.1)	(40.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



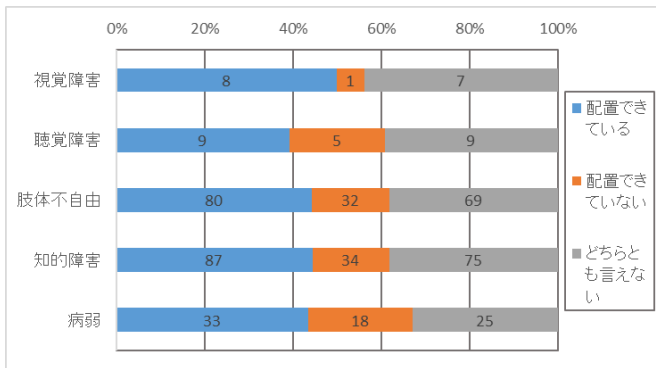
【120】 障害種別に対応した専門性のある教員の配置について、お答えください。《単一選択》

	配置できている	配置できていない	どちらとも言えない
合計	109	41	93
%	(44.9)	(16.9)	(38.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	8	1	7
%	(50)	(6.3)	(43.8)
聴覚障害	9	5	9
%	(39.1)	(21.7)	(39.1)
肢体不自由	80	32	69
%	(44.2)	(17.7)	(38.1)
知的障害	87	34	75
%	(44.4)	(17.3)	(38.3)
病弱	33	18	25
%	(43.4)	(23.7)	(32.9)
合計	217	90	185
%	(44.1)	(18.3)	(37.6)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



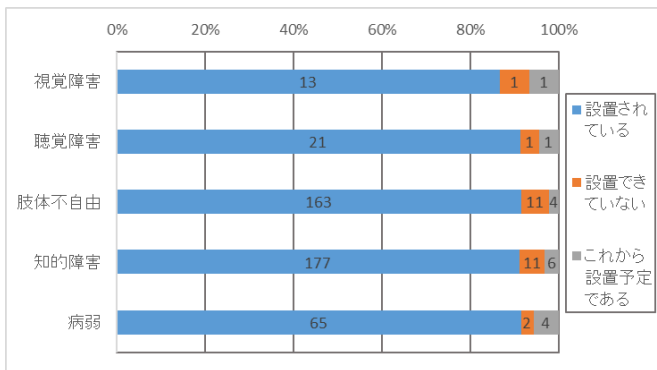
【121】併置校化後、多様な教育課程の設置について、お答えください。《単一選択》

	設置されている	設置できていない	これから設置予定である
合計	218	13	7
%	(91.6)	(5.5)	(2.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	13	1	1
%	(86.7)	(6.7)	(6.7)
聴覚障害	21	1	1
%	(91.3)	(4.3)	(4.3)
肢体不自由	163	11	4
%	(91.6)	(6.2)	(2.2)
知的障害	177	11	6
%	(91.2)	(5.7)	(3.1)
病弱	65	2	4
%	(91.5)	(2.8)	(5.6)
合計	439	26	16
%	(91.3)	(5.4)	(3.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



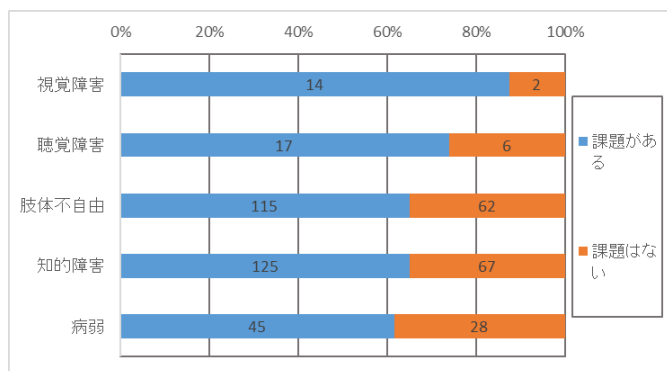
【122】併置校化に伴う教育課程上の課題について、お答えください。《単一選択》

	課題がある	課題はない
合計	151	86
%	(63.7)	(36.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	14	2
%	(87.5)	(12.5)
聴覚障害	17	6
%	(73.9)	(26.1)
肢体不自由	115	62
%	(65)	(35)
知的障害	125	67
%	(65.1)	(34.9)
病弱	45	28
%	(61.6)	(38.4)
合計	316	165
%	(65.7)	(34.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



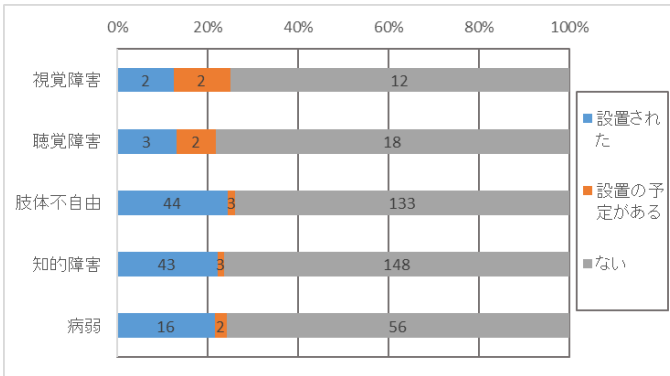
【123】併置校化により先進的な施設設備が設置されたかについて、お答えください。

	設置された	設置の予定がある	ない
合計	52	3	186
%	(21.6)	(1.2)	(77.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	2	2	12
%	(12.5)	(12.5)	(75)
聴覚障害	3	2	18
%	(13)	(8.7)	(78.3)
肢体不自由	44	3	133
%	(24.4)	(1.7)	(73.9)
知的障害	43	3	148
%	(22.2)	(1.5)	(76.3)
病弱	16	2	56
%	(21.6)	(2.7)	(75.7)
合計	108	12	367
%	(22.2)	(2.5)	(75.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



## ■その他内容

### 【視覚障害】

水治訓練室／実習・教室棟／産業科棟の建設／自立活動室（スヌーズレン可）

### 【聴覚障害】

実習教室／実習・教室棟／産業科棟の建設／自立活動室（スヌーズレン可）／地域教育支援センター、自立支援センター

### 【肢体不自由】

大型のエレベーター／電動昇降式洗面台／床暖房／エレベーター、多目的トイレ／温水プールやバリアフリー化等／1階と2階をつなぐスロープ棟の設置。／各棟へのエレベーター設置／タブレット端末／電子黒板、タブレット端末、視線入力装置等／新校舎建築・全館空調設備完備／エレベーター／温水プール、吊り遊具対応の天井フック、エレベーター／エレベーター・バリアフリー・床暖房（1Fのみ）／感覚学習室／エレベーター、ジャムを加工する設備、クリーニング設備など／ジャグジープール等／重度重複障がい教室

の床暖房等／エレベーター、障害者用トイレ、自動ドア／バリアフリー（スロープ・トイレ・出入り口・エレベーター） 冷暖房（体育館も含む）照明設備（自動点灯）／スヌーズレン室／スヌーズレン室 カームダウン室／エレベーターの設置／自立活動室、水治療室／温水プール／バリアフリー校舎の建築／エレベーター／実習・教室棟／産業科棟の建設／自立活動室（スヌーズレン可）／地域支援室、検査室、自立活動室、プレイルーム、多目的室／地域教育支援センター、自立支援センター／車いす対応のゴムチップのグラウンド／医ケア室／全館バリアフリー化／エレベーター，スロープ

#### 【知的障害】

床暖房／エレベーター、多目的トイレ／温水プールやバリアフリー化等／各棟へのエレベーター設置／電子黒板、タブレット端末、視線入力装置等／エレベーター／温水プール、吊り遊具対応の天井フック、エレベーター／エレベーター・バリアフリー・床暖房（1Fのみ）／感覚学習室／実習教室／エレベーター、ジャムを加工する設備、クリーニング設備など／テレビ会議システム／ジャグジープール等／重度重複障がい教室の床暖房等／院内学級のため、水回りや特別教室等がないこと。／エレベーター、障害者用トイレ、自動ドア／バリアフリー（スロープ・トイレ・出入り口・エレベーター） 冷暖房（体育館も含む）照明設備（自動点灯）／クリーニングの設備／スヌーズレン室／スヌーズレン室 カームダウン室／エレベーターの設置／自立活動室、水治療室／温水プール／バリアフリー校舎の建築／実習・教室棟／産業科棟の建設／自立活動室（スヌーズレン可）／相談支援ゾーンがあり、校内・外の相談支援のスペースが確保されている。／地域支援室、検査室、自立活動室、プレイルーム、多目的室／地域教育支援センター、自立支援センター／車いす対応のゴムチップのグラウンド／医ケア室／全館バリアフリー化／エレベーター，スロープ

#### 【病弱】

床暖房／1階と2階をつなぐスロープ棟の設置。／タブレット端末／新校舎建築・全館空調設備完備／テレビ会議システム／ジャグジープール等／重度重複障がい教室の床暖房等／院内学級のため、水回りや特別教室等がないこと。／クリーニングの設備／エレベーター／実習・教室棟／産業科棟の建設／自立活動室（スヌーズレン可）／相談支援ゾーンがあり、校内・外の相談支援のスペースが確保されている。／エレベーター，スロープ

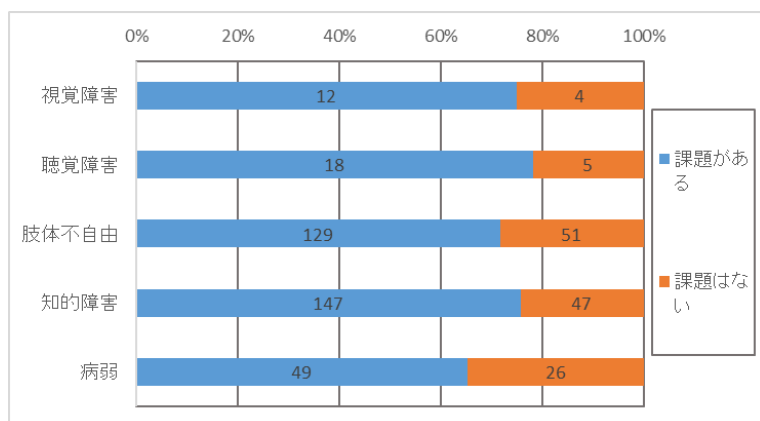
【124】併置校化による施設設備上の課題について、お答えください。《単一選択》

	課題がある	課題はない
合計	173	68
%	(71.8)	(28.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	12	4
%	(75)	(25)
聴覚障害	18	5
%	(78.3)	(21.7)
肢体不自由	129	51
%	(71.7)	(28.3)
知的障害	147	47
%	(75.8)	(24.2)
病弱	49	26
%	(65.3)	(34.7)
合計	355	133
%	(72.7)	(27.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



## ■具体的に

特別教室の調整／テレビ会議システム等のネット環境／空調設備の整備、トイレの整備、校舎の老朽化、防犯対策／施設設備の老朽化／図書室の充実／老朽化／児童生徒の増加による狭隘化／児童生徒の実態差／教室の不足／不足及び老朽化／肢体不自由児用の更衣室、床暖房／バリアフリー化が不完全／教室不足に伴う専門的な施設設備の不足／エレベーター、スロープ／施設の狭隘化／感染症時の移動や特別教室利用／病弱教室は病院内で授業を行っており、病院の都合に合わせなければならない。／病院から間借りしており、大変狭い環境である。／体育館や図書室など肢体不自由児に取って使いにくい場所がある／特別教室を含む教室不足など／教室数の不足／施設を間借りしているため、体育館・グラウンドが狭い。／施設設備は併設している学園のものであり、自由にできない／課題別に対応した学習教室の不足。廊下の幅の狭さ。／教室数や作業学習室の確保／病院内の教室のため制限がある／施設設備の老朽化が著しい／病弱教育は、院内学級、施設内の分教室で実施しており、施設設備は施設等から借用している／教室数が足りない。／普通教室数の確保／併置校前の施設設備の老朽化／分教室職員室が教室と別の階にあり、指導上及び防犯上課題がある。／体育館、プールの共用／施設の老朽化／児童生徒・玄関が二つあることによる防犯体制整備、共有施



設の利用調整／車いすでの安全な避難経路／医療的ケアの重度化に対応できない。／教室数の確保、スロープの設置／体育館はプール等、知的障害教育部門高等部生徒が使用するには小さい／教室不足／ケアルームなど空間の確保／教材や防災備蓄品等の保管スペースの不足。エレベータが1基のため災害時の避難が困難。体育館ステージに当初設計のスロープがない。肢体不自由向けトイレ・おむつ替えスペースの不足。厨房が狭く、配慮食・アレルギー対応等が不十分。ケアルームが当初設計になかったため、転用による食堂の不足。／障害種別の授業を実施するには、教室が少ない。／特別教室の設置／特別教室の不足／職業生活の学習に応じた教室がない／令和2年1月に新校舎への移転／児童生徒数の増加に伴い、教室は確保されているが、その他の教室に余裕がなく、個別指導等が難しい。／十分な広さの実習室の不足／作業の実習施設がない／肢体不自由対応の施設設備が不十分／木造校舎のメンテナンス、児童生徒増加に伴う、教室数の不足／学びの場が分かれたこと、教室（特別教室等）の確保、職員の駐車場の確保／エレベータの不設置／準ずる教育の生徒数が少ないが、教室を1配当するため教室数が足りなくなる心配がある。／教室不足（狭隘化）／安全施設の充実／理科室等の設置／二次調理室が不足／校舎の老朽化／施設が不十分／エレベーターがない／狭隘化による教室の不足／部屋の絶対的不足（校舎不足）／教室、トイレの不足、グラウンドがない／災害時における肢体不自由の子どもの避難／エレベーターやトイレが狭い／敷地の狭小、施設の老朽化／職業教育を行う特別教室が不足／教室の不足。老朽化。／教室の確保、老朽化／生徒数増加による教室数の不足／グラウンドの面積が狭小である／ホームルーム教室の不足／廊下に壁がなく、温度管理が困難 トイレの絶対数不足／教室が数多く必要となる／障害を区別した環境がない／グラウンドや体育館の使用など、制限がある／自立活動教室の増加／医療的ケア対象児童生徒の教室／教員の移動時間／HR教室や特別教室の不足等／スロープがない／肢体不自由学級を設置する教室が十分確保できない／校舎の老朽化、狭隘化／ケアルームと保健室の位置／緊急時の対応（スロープがない）、廊下の狭さ、車いすの設置場所の確保／学習室の不足／肢知児童生徒数の差による教室配置の調整／教室数の不足による施設整備／単独時代の設備の老朽化／人数の増減に柔軟に対応できるよう教室を区切ることができる仕様にしてあるが、そのため、音響的に聴覚障害教育には適していない。／児童生徒数増加に伴う教室配置／収納場所の不足、屋内運動場が小さい／ホームルーム教室、個別対応のためのスペースが不足している。／インターネット環境、市と県との権限／重症心身障害児や肢体不自由児に対応できる施設／教室の不足、狭い校地／空間(教室、応接室等)の設備不足／生徒増による教室不足／病弱教育部門は離れた場所の分教室として病院内の敷地を借用しての教育活動を行っている。学校として主体的・一体的な活動がしにくい。もともと盲学校としての施設設備の改修により併置に至っているため、教室が狭い、校舎内スロープ設置不可、特別教室の不足、視覚障がい幼児児童生徒移動時の校内安全確保等に課題がある。／知的教育部門の教室不足／施設設備が不足している／教室不足により、教育部門、学部、学年でまとまった教室配置が難しい／特別教室不足／旧校舎の使用により部門別配置が不可。／特別教室等の不足と使用時間の調整、運動場の狭小化／複数の教育課程があるため、体育館や特別教室等の利用調整が必要／訪問先教室の狭さ、ネットワーク環境等に課題がある。／部屋数の不足／特別教室等の不足／自立活動室、ランチルーム不足／教室不足、施設設備の老朽化／段差解消、肢体不自由対応の教室、トイレ不足／病弱から肢併置となったため、廊下、教室、トイレなどが狭く現状に合っていない／教室、学習室の不足／敷地が広く、段差があり、教室間の移動に時間が掛かる。／バリアフリーが十分でない／教室不足・重度の児童生徒への対応が不十分／小学部にエレベーターがない／経年劣化に伴う改修／教育課程に応じた職員配置／分教室は離島の高等学校内に設置された／避難誘導スロープの設置

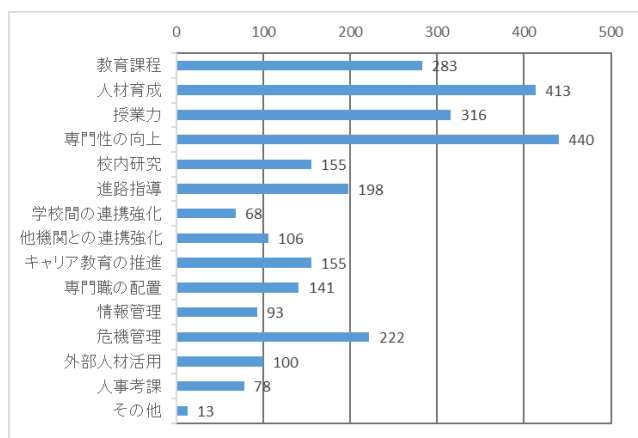
【125】併置校化による学校運営上の課題について、お答えください。《複数選択可》

	教育課程	人材育成	授業力	専門性の向上	校内研究	進路指導	学校間の連携強化	他機関との連携強化	キャリア教育の推進	専門職の配置	情報管理	危機管理	外部人材活用	人事考課	その他
合計	132	199	154	212	79	98	34	51	78	66	49	109	49	38	8
%	(54.3)	(81.9)	(63.4)	(87.2)	(32.5)	(40.3)	(14)	(21)	(32.1)	(27.2)	(20.2)	(44.9)	(20.2)	(15.6)	(3.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	13	12	11	13	6	5	2	4	6	4	3	11	5	4	0
%	(81.3)	(75)	(68.8)	(81.3)	(37.5)	(31.3)	(12.5)	(25)	(37.5)	(25)	(18.8)	(68.8)	(31.3)	(25)	(0)
聴覚障害	15	20	15	20	10	10	2	4	8	7	6	10	4	5	1
%	(65.2)	(87)	(65.2)	(87)	(43.5)	(43.5)	(8.7)	(17.4)	(34.8)	(30.4)	(26.1)	(43.5)	(17.4)	(21.7)	(4.3)
肢体不自由	108	156	121	166	56	73	21	42	57	55	34	84	37	26	3
%	(60)	(86.7)	(67.2)	(92.2)	(31.1)	(40.6)	(11.7)	(23.3)	(31.7)	(30.6)	(18.9)	(46.7)	(20.6)	(14.4)	(1.7)
知的障害	108	160	125	172	63	77	28	42	61	58	39	88	43	30	7
%	(55.1)	(81.6)	(63.8)	(87.8)	(32.1)	(39.3)	(14.3)	(21.4)	(31.1)	(29.6)	(19.9)	(44.9)	(21.9)	(15.3)	(3.6)
病弱	39	65	44	69	20	33	15	14	23	17	11	29	11	13	2
%	(51.3)	(85.5)	(57.9)	(90.8)	(26.3)	(43.4)	(19.7)	(18.4)	(30.3)	(22.4)	(14.5)	(38.2)	(14.5)	(17.1)	(2.6)
合計	283	413	316	440	155	198	68	106	155	141	93	222	100	78	13
%	(10.2)	(14.9)	(11.4)	(15.8)	(5.6)	(7.1)	(2.4)	(3.8)	(5.6)	(5.1)	(3.3)	(8.0)	(3.6)	(2.8)	(0.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

現時点で、病弱部門廃止のため単置校になったため併置の課題はない／スクールバスによる通学と医ケア／本校・分校・分教室の連携／部門間の連携による指導力の向上／主幹教諭 養護教諭等の定数上の制限／施設設備の充実／学校内の連携強化／大規模狭隘化の課題／事務職員の不在、教員一人当たりの校務分掌の分担増／教職員数の多さに比べて管理職が少ないこと

さいごに

併置校としての運営上、教育課程、人材育成、授業力、専門性の向上が多く回答されている。ただしこれは併置校に限ったことではなく、単独校でも常に問題が顕在化している部分であることが調査全体から見て取れる結果となった。